

令和2年度  
学校だより  
11月号

# かごまち



令和2年10月31日

文京区立駕籠町小学校

校長 矢部 明美

## 変わらないもの 変えるもの

教務主幹 荒木 悠介

今年もあと2か月あまりとなりました。今年は3・4・5月の休校に始まり、分散登校、夏休みの短縮など、学校の教育活動も予定の大きな変更がありました。保護者、地域の皆様には、度重なる変更の際にいつもご理解、ご協力をいただき、感謝申し上げます。

教務担当主幹として、行事予定を立てる際にいつも心掛けているのは『不易と流行』の言葉です。駕籠町小学校の変わらない、変えてはいけない価値（『不易』）は、「地域の中で60年以上の歴史によって培われた協調性」「思いやり」「共に学び、たくましく伸びる子供たちの姿」等、様々あります。そして、学校行事は、これらの力や態度を育む絶好の機会です。

先日の運動会も、種目を絞り、参観も制限するなど、例年とは大きく異なる形式での挙行となりました。それでも、子供たちは素晴らしい姿を見せてくれました。友達と気持ちを合わせようと、懸命に取り組む表情。一人一人が指先まで意識して、精一杯の演技をしようとする姿。これまでのような学校生活が送れない中でも、元気に、のびのびと活動する子供たちの様子は、これまでと何も変わらない、変えてはいけない駕籠町の宝であるということにも、改めて気付かされました。

今年度の運動会は、体育主任を中心として例年以上に校内で検討を重ねてきました。どういう形で開催し、どのような指導をすれば子供たちを伸ばせるのか。伝統の中で培ってきた大切なものと、変えていくべきものを改めて見つめ、行事を通してそれらをどのように子供たちに身に付けさせるのか。こうした検討を繰り返したことは、「柔軟に、よりよく対応する」「流行」の取り組みそのものでした。

激しい変化が予想されるこれからの時代は、よりよいものを見つめ、自らを柔軟に変えていく力が、ますます求められるようになります。これは「自分を、自ら成長させていく力」と言い換えることもできます。未来をたくましく生き抜くために、駕籠町小の子供たちにもぜひ身に付けてほしい力です。そして、そのためにはまず私たち大人も、大切なものを見極め、よりよいものを求めて柔軟に変化していくという姿勢を、これまで以上に子供たちに示していく必要があるのではないのでしょうか。

今月は表現発表会を予定しています。この行事も昨年度までとは違った形となりますが、子供たちの表現力や人間性をしっかりと育てていきたいと考えています。駕籠町小学校の今を見つめ、子供たちの未来を考えながら、今後も取り組んで参ります。

### 11月の行事予定

(出席20日)

### 「すすんで仕事をしよう」

日	曜	行事予定	日	曜	行事予定
1	日		17	火	避難訓練(不審者)
2	月	全校朝会 消防署出前授業(3年)	18	水	卒業アルバム個人撮影
3	火	文化の日	19	木	就学時健康診断(金曜時程) 4時間授業
4	水		20	金	クラブ 体育授業公開(1校時5-1、4校時5-2)
5	木	読(1・2年)	21	土	
6	金		22	日	
7	土	東京都教育の日	23	月	勤労感謝の日
8	日		24	火	全校朝会
9	月	全校朝会	25	水	4時間授業(6年2組研究授業のため5校時までで下校)
10	火	安	26	木	読(3年) セーフティ教室(5・6年) 体育授業公開(1校時5-2、3校時5-1)
11	水	オリパラ講演会(全学年)	27	金	セーフティ教室(3・4年)
12	木	表現発表会(リハーサル)	28	土	
13	金		29	日	
14	土	表現発表会(保護者鑑賞日)	30	月	全校朝会 歩行者シミュレーター(2年) 体育授業公開(6校時6-1)
15	日				
16	月	全校朝会			読...読み聞かせ 安...安全指導 今月は「ふれあい月間」です。

体育授業公開は、12月1日(火)5校時に6-1、12月2日(水)4校時に6-2、12月7日(月)4校時に6-2を予定しています。

なお、12月19日(土)、1月16日(土)は公開なしの土曜授業とします。

## 文京区内でフィールドワーク（5年生学年紹介）

5年1組担任 荒木悠介

5年2組担任 西由香

コロナ禍で、5年生で予定されていた八ヶ岳移動教室が中止になってしまいました。例年八ヶ岳は、子供たちが大きく力を伸ばすことができる機会でした。このような中、自主的に考え行動できる力を育み、相手の気持ちを考えて協力し合う学習を行いたい、仲間との温かい思い出となる学習をさせたいと考え、文京区内でのフィールドワークを年間指導計画に新たに組み込み、実行することにしました。

文京区内には、歴史的な遺跡や著名な文豪に関わる場所、有名な公園など、総合的な学習の学びに生かすことができる場所がたくさんあります。まず、子供たちは、地図や資料を用いて班の仲間と相談しながら行先や行程など自分たちの力で決めました。時間の管理やトイレの場所の確認などを自分たちでする必要がありました。その中で地図の見方や縮尺の捉え方など、これまでの学習を生かす姿も見られました。

10月22日の当日は、多くの保護者の皆様にボランティアとして定点で見守っていただきながら、各班で無事学び、帰校することができました。この学習を通して、「わが町文京の宝」を発見できたことはもちろん、一つのことを一緒に成し遂げることができた仲間のよさや、自主的に頑張ることのできた自分のよさを発見できたことと思います。そして、この学びを生かしながら高学年としてさらに一歩前進できる5年生でありたいと決意しています。



## 運動会のように

体育主任 菊地 智巳

例年とは異なる形での開催ではありましたが、『一人一人が全力で 若竹のような成長を』のローガンのもと、一人一人が精いっぱい頑張りました。各学年の表現は、どの学年も仲間と練習に打ち込み、励まし合いながら共に成長してきた道のりが、本番の熱い踊りにも表れていました。

当日までの、子供たちの体調管理や持ち物のご準備、ありがとうございました。また、学年ごとの参観へのご理解とご協力、ありがとうございました。



低学年

中学年



高学年



駕籠町応援部

